

若者とともに50年。
そして、明日も。



2019年度(H31)
事業計画書
(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019. 3. 20



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

2019年度は、設立50周年。新たに3カ年計画をスタート。

<基本方針>

- ・ 2019年度は設立(1969)50周年を迎える。
そこで、これまでの半世紀の活動を振り返り、その中から、継ぐもの、見直すもの、さらには新たに取り組むべきものを検討するために、関係諸氏からのヒヤリングを行って、これからの方向性を議論してきた。(NEXT50委員会:隈丸優次委員長)
- ・ その結果、活動の理念である『飛び出せ若者』の合言葉は変わらない。
海外研修の送り出しと受入れによって、若い世代の国際交流の懸け橋を担っていく。
- ・ その一方で、人と人とのつながりをより一層深めていくことに注力していく。
我々とともに「学ぶ者」「励まされる者」、そしてそれを「応援する者」との間の『つなぎ』を、東京から地方へ、そして世界へとつなげていくことを活動コンセプトとし、明日のリーダー育成に向けて、各事業計画をビルドアップしていく。

新3カ年計画(2019~2021年度)

<基本計画>

- ① 「人材育成」「国際交流」「社会啓発」の3つの事業を柱とする (継続)
- ② アジアをフィールドに次代のユースリーダーを「年間を通して育成」する (新規)
- ③ ASEANとの交流ネットワーク(AJAJA-21)の具体的な活用策をすすめる (新規)
- ④ 各事業間のつながり、さらには会員企業、地方、ASEANとのつながりを深めていく (新規)

◆若者との合言葉は.....

飛び出せ若者！！

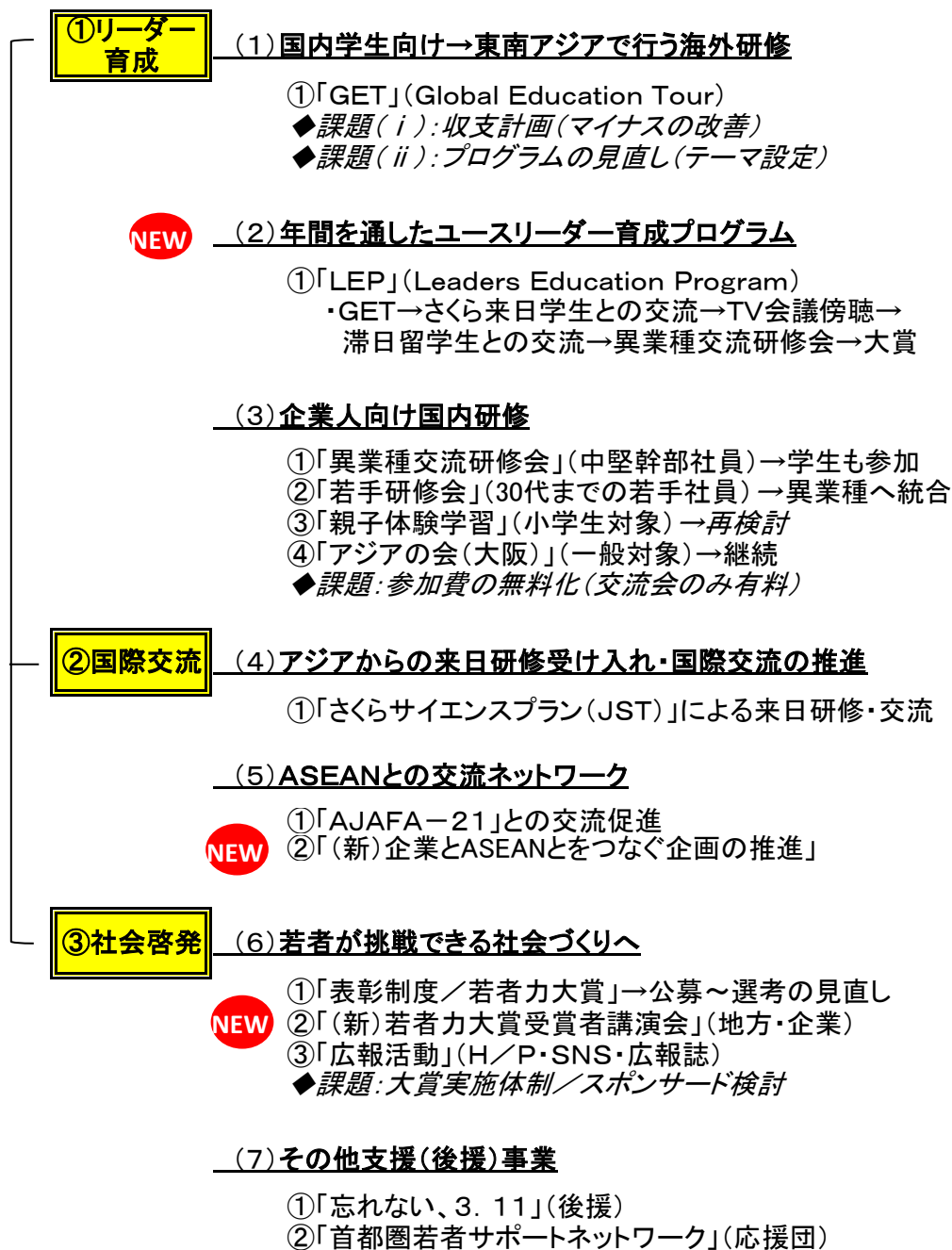
◆活動のKey Wordは.....

つ・な・ぐ

- ★3年間の目標
- (1) 海外研修:日本とアジアの学生研修を3年間で300名を目標とする。
「GET(150名)」「さくら(150名)」
※新たに「在日留学生との交流(200)」を検討。
 - (2) サポーター:600名の若者応援サポーターの輪を広げる。
「個人会員(300名)」「学生・留学生(300名)」(延べ)
※資金援助(個人会員)と、若者ネットワーク(学生層)の両輪。
 - (3) 事業規模:年間5,000万円以上の維持。
事業収支:3年間で正味財産±ゼロ以上
 - (4) 基本財産:1,000万円超に増額。

＜事業計画＞

★3年間の事業計画 / 事業はすべて公益事業とし、3つの目的をもって構成する。



★組織体制

- ◎ 運営幹事会＝実質審議を行う執行理事会議として毎月開催
- ◎ 事業委員会＝担当理事による委員会執行体制での事業推進
※学生層の活用策検討(例: GET参加学生)
- NEW ◎ 事務局＝専従職員＋企業派遣(出向)社員の検討

★財政基盤

- ◎ 法人会員の維持拡大 → 法人会員100社目標(or100口目標)
※「会長サロン」＋「AJAFA-21」の開催
- NEW ※地方会員新設←GET勧誘協力地方企業
- ◎ 個人会員の拡大 → 個人会員100人目標(100口)
- ◎ 助成金・補助金事業の開拓 → 外務省・文科省・JICA・JSTほか
- NEW ◎ クラウド・ファンディング活用 → GET基金／大賞基金等の検討

2019年度 事業計画

I. リーダー育成事業

◎事業収支予算: ▲3700千円(H30見込▲4016千円)

① 「東南アジアで行う国内学生向け海外研修」

◇事業収支予算: ▲3000千円(収入8500・支出11500)(H30見込: ▲3524千円)

(1) 「GET(Global Education Tour)」

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業(東南アジア)を継続して実施。

AJAF A-21友好団体の現地協力体制の連携をさらに強化する。

参加学生の集客力をより高める。特に地方の学生への参加要件を検討。

- ◆ (1) 研修実施……夏(8月):2コース/春(3月):1コース(計50名)
- ◆ (2) プログラムの設定…①現行(海外初心者程度)…夏2コース・春1コース
※春は新高校生可
②領域別コース設定への準備(農業など)
※大学生限定/2020実施を目指す
- ◆ (3) 研修先……夏(ベトナム:8/1-8)(高大学生・初心者向け)
夏(インドネシア:8/22-29)(高大学生・初心者向け)
春(ミャンマー:3/20-27)(高大学生・初心者向け)
- ◆ (4) 募集計画…学校(教師)ルート/SNS/地方(育てる会・商工会議所)
会員企業社員子弟向けアプローチ(ツール制作)
- ◆ (5) 参加費(収支計画)…コース別設定(協会負担@6万/1人)(年▲300万)
- ◆ (6) 安全管理対策…現地スタッフ体制、危機発生時対応(OSSMA)等

NEW

② 「リーダー育成プログラム(LEP)」(Leaders Education Program)

◇事業収支: ▲200千円(収入000・支出200)(H30-)

(1) 「LEP(Leaders Education Program)」

GET参加者(新規・過去)に対して、協会の各種研修機会を提供する。
通年の育成プログラムとし、年間行事終了後に「修了証」を発行する。

- ◆ ①GET~②さくら来日研修生との交流~③滞日留学生との交流~
④AJAF A-21/TV会議傍聴~⑤異業種交流研修会~⑥大賞表彰式
- ◆ GET参加募集要項に入れる。《GETから始めるリーダー育成プログラム》

③ 「企業人向け国内研修」

◆事業収支予算: ▲500千円(H30見込: ▲492千円)

(1) 「異業種交流研修会」

◇事業収支予算: ▲200千円(収入100・支出300)(H30見込: ▲232千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会。
今年度からは、新たにGET参加学生にも育成プログラムの一環として、
参加枠を設定する。

- ◆ 2019年度は年間2回(6月・1月予定)の開催を実施。
- ◆ 参加費: 講演会=無料/交流会=3,000円(学生=無料)
- ◆ ①第31回 2019. 6. 3(月) 講師: 山崎裕人氏(全日警専務)
- ◆ ②第32回 (仮)2020. 1. 20 講師: 赤坂清隆氏(フォーリンプレスセンター理事長)

(2) 「若手研修会」

◇事業収支予算:▲100千円(収入000・支出0100)(H30見通し:▲36千円)

「異業種交流研修会」の弟版。企業の20代～30代の若手社員を対象に、異業種相互の会社見学や懇親を通して、見て学ぶ研修会。

- ◆ 2019年度は、企業人向け研修は「異業種交流研修会」だけにして、リーダー育成プログラムのGET学生と滞日留学生との交流会を行う。
→ハリウッド・山中理事長／ベジタリア・小池社長の協力を仰ぐ。

(3) 「親子体験学習」

◇事業収支予算:0千円(収入00・支出00)(H30見込:▲24千円)

小中学生を対象にした親子で学ぶ体験学習。
近年は6～7家族の参加があるが、関係者以外では2～3家族。

- ◆ 2019年度は実施を見送る。
ただし新江ノ島水族館とは「さくらプラン」の研修(バックヤード見学)協力継続

(4) 「アジアの会(大阪)」

◇事業収支予算:▲200千円(H30見込:▲200千円)

アジア圏の歴史、文化、そして現在の状況を学ぶ大阪地区での研修会。
通算50回を超す息の長い会合を継続して行う。

- ◆ 2019年度も年間4回開催予定:5月・8月・11月・2月

II. 国際交流事業

◎事業収支予算:+200千円(H30見込:+231千円)

④ 「アジアからの来日研修・国際交流」

(1) 「さくらサイエンスプラン(JST)」(日本・アジア青少年サイエンス交流補助事業)

◇事業収支:+1000千円(収入10500・支出9500)(H30見込:+1166円)

「さくらサイエンスプラン(JST)」の補助金申請を前提に研修計画を組む。
今年度は、①「AJAFA加盟国×2か国」②「中国」の、計3回を計画。
各コース15名×3・・・計45～50名。

- ◆ (1) 企画提案・補助金申請①3月末→実施:7月(インドネシア・15名)
②6月末→実施:10月(中国・")
③8月末→実施:12月(フィリピンorマレーシア)
- ◆ (2) 研修プログラム・同世代交流を重点化(学校/GET・OB)
・協力機関拡大(体験型研修/江の水・リバネス等)

⑤ 「ASEANとの交流ネットワーク(AJAF-21)」

◆事業収支予算: ▲800千円(収入000・支出800)(H30見込: ▲935千円)

(1) 「AJAF-21との交流促進」

◇事業収支予算: ▲600千円(H30見込: ▲935千円)

日本で研修を受けたASEAN諸国の研修生のOB会組織「AJAF-21」の
通年活動への参加と、さらに具体的な活用策を検討する。

- ◆ 2019年度は、「ECM」および「TV会議」は従来通り積極参加。
「RLF」については内容の見直し次第で参加(学生等)の再検討。
- ◆ 新たな活動として、AJAF-21の一員としての活動と並行して、
加盟各国との個別の交流機会を増やすことに力点を置く。

- (例) {
- (1) フィリピン・・・来日視察団受け入れ→法人会員との交流・GET計画
 - (2) タイ・・・来日学生研修受け入れ→育成プログラムとの連動
 - (3) インドネシア・・・
 - (4) ミャンマー・・・GET(農業コース)の計画/法人会員との交流
 - (5) マレーシア・・・「さくら」の呼びかけ・GET計画
 - (6) ベトナム・・・高校生来日研修の受け入れ→育成プログラムとの連動

(2) 「企業(法人会員)とASEAN諸国(国別)をつなぐ企画推進」

◇事業収支予算: ▲200千円(H30: -円)

AJAF-21のネットワークを、会員企業に向けてつなぐ機会を設ける。

- ◆ ①「AJAF-21」の国別のガイドブックの作成に着手。
→各団体の国内ポジション・会長のポジション・主要メンバー
→各団体に事前アンケートを行い、日本企業に期待することなどを把握。
- ◆ ②法人会員との交流機会の設定: ①「会長サロン」への招聘(最初は1名?)
②各国からの訪日団との交流会設定
③海外(国別)での交流会設定協力

Ⅲ. 社会啓発事業

◎事業収支予算: ▲1600千円(H30見込▲3266千円)

⑥ 「若者が挑戦できる社会づくりへ」

◆事業収支予算: ▲1600千円(収入2100・支出3700)(H30見込: ▲3195千円)

(1) 「第11回若者力大賞」

◇事業収支予算: ±0千円(収入2100・支出2100)(H30見込: ▲2161千円)

2019年度も「若者力大賞」の選考と表彰を実施する。
ただし10年を経て、審査委員および選考過程の再検討が必要。

- ◆ 「第11回若者力大賞表彰式」・・・2020年2月予定
- ◆ (1)選考～審査プロセスの検討・・・**選考委員・審査委員等の見直し**
(2)表彰式・・・参加費・会場規模・イベント内容の再検討
(3)受賞者支援スキームの検討・・・若者力支援ファンド など
(4)イベント協賛の検討・・・広告スポンサー・特別賞 など(目標300万円)

(2) 「企業や地方とつなぐ若者力大賞受賞者講演会」

◇事業収支予算:0千円(H30:-円)

過去に行った受賞者講演会は、その後の活躍ぶりを知ることと合わせて、次の表彰式への誘いを兼ねて開催してきた。

- ◆ 今年度からは、社会貢献活動に関心の高い企業への紹介や、地方の学生や企業を対象に講演会を行って、受賞者にとってもメリットとなる講演会を企画する。
- ◆ 過去受賞者のプロフィールを作成(現在の活動内容など)して、出演の可否を本人に確認して、公開する。
- ◆ 経費(謝金・交通費・会場費)は受益者負担で賄う。

(3) 「広報活動」

◇事業収支予算:▲1500千円(H30見込:▲1105千円)

年間の広報計画(スケジュール・発信内容等)を組み立て、各種の広報ツールを効果的に活用して、発信力を高めていく。

i) 「広報誌:YOUTH LEADER」の発行／協会案内(小リーフ)

◇事業収支予算:▲1500千円(H30見込:▲1105千円)

- ◆ 年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
発行部数・・・2,000部(役員・会員・関係機関・協会活動参加者 等)
- ◆ 5月号(Vol146)は、「50周年特別号」として発行

ii) 「ホームページ／SNSの活用」

◇事業収支予算:0千円(H30見込:0千円)

- ◆ 協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信。
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る。

iii) 「会員企業等との広報リンケージ」

◇事業収支予算:0千円(H30見込:0千円)

- ◆ 会員企業のホームページとのリンケージを図って、CSR活動の一環として、協会支援活動のPRにつなげる。

⑦ その他支援事業

◆事業収支予算:▲100千円(H30見込:0千円)

(1) 「後援活動／忘れない、3.11」(幸福の黄色いバンダナの会)

- ◆ できる範囲の継続的な被災地復興支援を活動趣旨に、明日への一歩を踏み出す意味で毎年3月12日に開催されている「忘れない、3.11」イベントに、2019年度も後援協力する。

(2) 「応援団活動／首都圏若者サポートネットワーク」

- ◆ 養護施設から巣立つ若者たちを支援する活動を応援していく。

2019年度 事業委員会

◆主要事業は、別に定める委員会運営細則にもとづき、委員会を設置して実施する。
2019年度は、下記の委員会を設置する。

委員会名	内容	担当(理事・外部)	事務局
<リーダー育成>	①「GET」の企画・実施	久世	安部
◆委員長	②「リーダー育成プログラム」企画実施	村岡	金沢
(候補者)	③「企業人研修」企画実施	秀島	林
小室理事	④安全／危機管理		
<国際交流>	①「さくらサイエンスプラン」の実施	阪本	金沢
◆委員長	②「AJAFA-21」との交流促進	笛吹	安部
(候補者)	③「ASEAN各国と会員企業とのつなぎ」	家本	
隈丸理事			
<社会啓発>	①「第11回若者力大賞」選考・表彰	野村	加藤
◆委員長	②「受賞者講演会(企業・地方)」企画	佐藤(孝)	林
(候補者)	③「その他 支援活動」	藤村	
池本理事			
<財務・組織>	①「財政基盤」の検討	吉田	加藤
◆委員長	②「会員強化施策」の策定	小笠原	林
(候補者)	③「新体制・新事務所」の準備検討	倉田	
佐藤(友)理事			

2019年度 組織運営全般

組織運営全般

◎収支予算: +5400千円(H30見込: +3010千円)

◆内訳 □ ◇収入: 31000千円(会費29500個人会費500寄附金1000) ★H30: 30784千円
 ◇支出: 27200千円(人件費16500事務費8160等) ★H30: 27774千円

(1) ガバナンス

- ① 「評議員会(5月)」「理事会(4月・5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」の開催
 → 「評議員会」…前年度事業・決算承認/役員選任/定款変更等
 → 「理事会」…前年度事業・決算承認/次年度事業・予算承認/規程変更等
 → 「運営幹事会」…運営全般管理/委員会活動/緊急事案の協議・決定等
 ◆委員: 理事長・副理事長・常務理事・事業委員長・監事 ほか
 → 「会計監査」…各月会計監査/事業及び理事の活動監査

(2) 会員管理

- ① 「会員(法人・個人)維持拡大」…GETおよびAJAFA、大賞等具体的活用策検討
 ② 「会長サロン」継続開催…法人会員代表者の理解促進・協力依頼

(3) 事務運営

- ① 「事務局(4名)」+「業務委嘱者(数名)」…人件費: 対前年度減に抑える
 NEW ② 「法人会員(役員)」から事務局員への派遣、委員会ワーキングスタッフ協力依頼

(4) 財務・総務関連

- ① 「設立50周年記念の集い(5/13)」…会員(法人・個人)を中心に開催
 ② 「2020. 5任期満了に伴う役員の改選」…財務組織委員会と連動
 ③ 「2020新事務所移転準備」…同上

◆2019年度 総事業予算 (千円)

	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(Ⅰ-Ⅲ)	21,200	26,300	▲ 5,100
◆会費・運営費	31,000	27,200	+ 3,800
合計	52,200	53,500	▲ 1,300

若者とともに50年。
そして、明日も。



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS